

# Workshop#1 “Random”



Workshop#1は、「乱数を使って作品を作ってみよう」という内容のワークショップでした。サークルとして初のワークショップで、基本的なテーマを選択しました。参加者の中には、初めてプログラミングに触れる人もいました。各参加者は、サンプルプログラムからオリジナル作品をつくりました。配布したプログラムは、X座標をランダムに指定しながら白い縦線を描いていく、シンプルなものです。

```
// ARTiS Creative Coding Workshop #1 "Random"
```

```
void setup() { // Draw only once
  size(900, 900); // or fullScreen();
  fill(255); // or noFill();
  stroke(255); // or noStroke();
  background(0);
}
```

```
void draw() { // Draw 60 frames per second
  float random = random(0, width);
  line(random, 0, random, height);
}
```

```
void keyPressed() {
  if (key == ENTER) saveFrame("output.png");
}
```

プログラミング初心者のために、コメントを多めに記述しています。

draw関数内でbackgroundを更新していないため、時間が経っても線が残ります。

画像出力用の関数も置いておきました。